

新・ビジョン「議会活動目標2028」(新・議会改革運営ビジョン)策定に向けて

令和6年3月27日
議会改革推進会議
委員長 古川 仁

これまでの経過

- ・令和4年度から全議員で取り組んだ「地方議会評価モデル」(以下「評価モデル」)から、議会に期待される役割であり議会改革の到達点である「スローガン」「ミッション」「ビジョン」が策定され、飯田市議会が進むべき方向性が明らかとなった。
- ・その後、「評価モデル」における「成熟度評価」から、**28項目の「取り組むべき課題」**が抽出され、こうした取り組みが、令和5年4月に「飯田市議会評価モデル実施報告書」にまとめられた。
- ・令和5年度から、具体的に取り組む活動目標と「評価モデル」の進行管理を行うため、議会改革推進会議に申し送られた。議会改革推進会議では、「取り組むべき課題」のうち「スローガン」をベースに、**市民との関係性が深い事項を、優先して取り組む課題**として挙げ、実施主体(議会改革推進会議、正副委員長会、広報公聴委員会)ごとに議論を進めた。
- ・「新・議会改革運営ビジョン」の策定を目指した**「課題を解決するための具体的な実現方策」の検討経過**(議会改革推進会議の担当部分のみ提示)を、令和5年12月20日開催の議会改革推進会議全体会(以下「全体会」)に示し、了承を得た。

新・ビジョン「議会活動目標2028」の構成(案)

評価モデルの取り組みにより、飯田市議会の議会改革は、「改革の推進」から、住民福祉の向上につなげていく、「**住民自治の根幹としての議会**」を目指す新たなステージ(「改革」から「**変革**」へ)に移行したといえる。

これを機に、策定から10年の節目となった現行の「議会改革運営ビジョン」を見直し「新・ビジョン」として策定するにあたり、新たなステージでの議会活動(改革)を更に推進するために、策定期間に次期任期4年を加えた6年間(最終年2028年)とした議会活動(改革)の実行目標やロードマップを、市民にわかりやすく示す、**新・ビジョン「議会活動目標2028」**(以下、「新・ビジョン」)として策定する。

今後、議会改革推進会議にて協議、令和6年5月中に全体会に諮り策定、公表の予定。

1)新・ビジョン「議会活動目標2028」 活動アクション・ロードマップ

【議会用】 資料 No.1

令和5年12月20日の全体会で示した『「新・議会改革運営ビジョン」の策定を目指した具体的な実現方策』をベースに、**新・ビジョン「活動アクション・ロードマップ」**として作成する。

実施主体のうち、正副委員長会、及び広報公聴委員会においては、本日現在において必ずしも実施主体としてのまとめの段階には至っていないことから、これまでに、それぞれから議会改革推進会議に報告のあった内容（添付資料）から推察したもの（実現方策、工程）を記載し、令和6年4月末までには、各実施主体から最終報告を受け、新ビジョンを完成させる。

なお、新・ビジョン「議会活動目標2028」の推進にあたっては、令和5年4月に作成した「**飯田市議会 地方議会評価モデル 実施報告書**」をエビデンスとして活用する。

2)新・ビジョン「議会活動目標2028」 概要版 & 活動アクション・ロー

ドマップ 【市民向け】 資料 No.2

「新・ビジョン」を、市民に向けて公表するにあたり、「スローガン」「ミッション」「ビジョン」、及び、課題を解決するための具体的な実現方策とロードマップを示し、飯田市議会が進むべき方向性と議会活動（改革）の具体的な取組みを示す。

市民向けの公表にあたっては、「評価モデル」から構成された「新・ビジョン」が、やや専門的な（議会の内部的）内容であることから、「新・ビジョン」（議会用）を、「**概要版**」 & 「**活動アクション・ロードマップ**」として2種類を作成し、市民にわかりやすくシンプルに伝える。【R6年5月公表を予定】

※28項目の「取組むべき課題」のうち、残された課題については、令和6年度中に議論を進め、取舍選択を行うなかで、必要に応じて、新・ビジョン「議会活動目標2028」に追加する。